

(作成年月日) 2024年5月31日

(臨床研究に関する情報)

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日制定、令和5年3月27日一部改正。)に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、資料・診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。資料・診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名] 妊娠糖尿病が乳汁生成第Ⅱ期の開始時期に与える影響を調べる後ろ向き研究

[研究の目的]

児を出産した母親を対象に、後方視的に産後早期の授乳量に関するデータを収集し、妊娠糖尿病と診断された妊婦と正常耐糖能の妊婦で日齢3の推定母乳分泌量に差があるかどうかを検討すること。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2022年4月1日から2024年3月31日の間に香川大学医学部附属病院で出産された方

○利用する資料・情報

情報：年齢、身長、非妊時体重、初産婦・経産婦、出産週数、分娩様式、胎児数、出生時刻、児の性別、出生時体重、アプガースコア、妊娠糖尿病の有無、ステロイド内服の有無、初回授乳時刻、日齢24時間以内の直接母乳回数・人工乳追加回数・人工乳量、日齢1日の体重・体重増加量・直接授乳回数・人工乳追加回数・人工乳量、日齢2～7日の体重・体重増加量・直接授乳回数・人工乳追加回数・人工乳量・搾乳回数・搾乳量、退院前24時間の直接授乳回数・母乳量・人工乳追加回数・人工乳量・搾乳回数・搾乳量、2週間健診・1カ月健診時の日齢・体重・体重増加量・直接授乳回数・人工乳追加回数・人工乳量・搾乳回数・搾乳量、早期母子接触(early skin to skin contact: STS)の有無、STS時の直接授乳の有無、2週間健診・1カ月健診時のエジンバラ産後うつ病質問票の得点(edinburgh postnatal depression scale: EPDS)・赤ちゃんへの気持ち質問票の得点

[研究組織]

香川大学医学部健康科学 准教授 加藤育子

香川大学医学系研究科看護学専攻助産学コース 大学院生 内海江美子

香川大学医学部看護学科母性看護学 准教授 野原留美

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部健康科学 准教授 加藤育子

電話 087-891-2358